

2月定例月議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

総件数 27件

(内訳)

No.1	投票所への移動支援事業(市長選挙費)	…9件
No.2	四日市市歯科医療センター条例の一部改正について	…4件
No.3	四日市花火大会事業費補助金	…6件
No.4	運転免許自主返納支援事業(交通安全啓発事業費)	…8件

今回ご意見をいただいた人数 12人
4件の議案にご意見をいただいた方： 4人
3件の議案にご意見をいただいた方： 1人
2件の議案にご意見をいただいた方： 1人
1件の議案にご意見をいただいた方： 6人

内訳：	10歳代	0人
	20歳代	2人
	30歳代	0人
	40歳代	0人
	50歳代	0人
	60歳代	3人
	70歳以上	7人
	不明	0人

2月定例月議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

	No.1	投票所への移動支援事業(市長選挙費)
総務常任委員会	1	良いことです。ただし、極力同じ地域の方々と一緒に利用されるよう願います。
	2	基本的に賛成です。選挙での移動困難者について詳しいデータを持ち合わせていませんので、確かなことは言えませんが、投票できる日時は限定されますので、利用者がいざタクシー会社へ連絡したところに対応できるのでしょうか？投票日に利用できるタクシーの台数、利用者数、利用日程等の検討をよろしく願います。
	3	賛成です。移送を担うボランティアを募るようになれば、市民の地域活動への参加が促されて、より良いまちづくりにつながると思います。
	4	投票日当日、指定された投票所までの移動が困難な市内居住者で、移動のための補助手段(家族等の送迎)がなく、4項目に該当する方のみが対象になっているが、運転免許証を返納した人も移動手段が無いと思うのですが、投票所まで歩いて行けない方は対象外なのですか？健常者でも投票できる体制を検討したほうが良いのではないのでしょうか。
	5	選挙当日には車椅子の方も投票所にみえます。ほとんどは付き添いの方が同伴しています。今回の提案では投票日当日のみですが、ぜひ実施して投票をしやすい環境をつくってもらいたい。また実施後に結果検証をして、好評なら期日前投票にも拡大していただくように検討してほしい。
	6	タクシーで移動できる方は障害者の中でも限られた方です。これからは高齢化が進み、投票所に行けない人も増えてきます。投票所に行かなければ投票できないではなく、郵便で送る、またはスマートフォンで投票できる等ができればとても良いと思います。

2月定例月議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

	No.1	投票所への移動支援事業(市長選挙費)
総務常任委員会	7	<p>本事業は無投票選挙になるか、ならないかの議論もあるが、移動困難な選挙人に対して、支援事業を拡充することは大変良いことである。事業内容の下記のことについて留意すべきと考える。</p> <p>1. 対象者の基準が厳しい。特に精神障害者、介護保険制度の認定を受けている方という基準は厳しい。</p> <p>2. 移動について「タクシーまで移動することが困難な場合、移動を介助する付添人又は介護する人を同伴させる」となっているが、かなりの人が難しい環境にあると思われる。従って、例えば郵便投票の対象者として特別に認めるようにしてはどうかと思う。</p> <p>移動費用の補助の問題ではなく、移動困難者の選挙への参画を支援する事業であるべきではないかと思う。</p>
	8	<p>自宅から投票所までタクシーで往復してもらえるということですが、送迎中に事故をして障害者の方が怪我をしてしまった場合の責任は誰がとるのが気になりました。</p> <p>もし、自己責任になるようであれば、自宅での投票が望ましいのではないのでしょうか。</p> <p>例) 茨城県つくば市</p>
	9	<p>投票所までの移動手段がなくて投票できなかった人にとって良い事業だと思います。</p> <p>市民に広く知らせて、平等に利用出来るようにしなければいけない。</p>

2月定例月議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

	No.2	四日市市歯科医療センター条例の一部改正について
教育民生常任委員会	1	賛成です。
	2	<p>基本的には大いに賛成です。障害者歯科診療の診療日時が火曜日、木曜日、日曜日となっていますが、現状がどれくらい行われていたのか、不明ですが、96人分を拡充するという事で、増えていることは推察できます。</p> <p>困っている方に行政が対応することは、四日市市の優しいまちづくりに寄与し、遠い将来においては人口増も期待できます。このようなきめ細かい施策の積み重ねを期待します。</p>
	3	診療日時の拡大は良いことと思うが、重要なことは、その効果がどれだけあるのか評価し、公開すべきだと思う。
	4	指定管理者制度導入で利用できる人数が増えているのは良いことではないかと思えます。

2月定例月議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

	No.3	四日市花火大会事業費補助金
産業生活常任委員会	1	<p>本年は能登半島地震も発災したことから中止すべきです。その財源を南海トラフ巨大地震に備える防災・防犯対策に予算を増加すべきです。</p>
	2	<p>再検討が必要だと思います。花火は多くの四日市市民が参加して楽しむものであり、自宅から見る人は限定されています。そのことから考えるとまず、観客数が少なくなるのではないかと？観客の駐車場が確保できるのか？という疑問が生じます。場所を変更したということは、なにか不都合なことが起こったからでしょうか？それとも誰かの思いつきの案でしょうか？場所を選定する前に、整理する問題があるのではないのでしょうか？</p>
	3	<p>新たな花火の打上げの会場を想定した場合、周辺のコンビナート関連企業や工場等が密集している環境が花火打上げに適しているとは思えない。 観覧者の移動についても最寄り駅より遠い気がします。1,270万円をかけて行う打ち上げ試験とは思えないので再度検討してはどうか。</p>
	4	<p>花火大会への市民の期待は大変大きいので是非前進させて頂きたいが、以下の点に留意すべきと思う。 1. 打ち上げ試験がどの程度か想像がつかない(どのような花火でテストするのか等)が、この地区で打ち上げとなる場合、観覧場所、車の駐車場所、等々が非常に制約されると想定される。関連する地域住民の声をよく聞き、トラブルが起こらないようにどのような方法にすればよいか、体制や計画を緻密に積み上げる必要があると思う。 2. 打ち上げ想定エリアがコンビナート沿線から離れているとはいえ、周辺は、火災の危険性が最も高い石油備蓄設備が多い。8月下旬ころは大変暑い時期となることが想定されるが、風向きは海風が多く、火薬の不発のケース、火の粉の危険性が気宇される。(長期に渡りコンビナート関係に携わった経験から)</p>
	5	<p>以前は富田浜で実施して、多くの見物客は近鉄富田駅を利用していました。会場までの道中にごみの不法投棄が目立ち、周辺の住民から多くの苦情を耳にしました。郷土愛を醸成するのなら、マナーの向上が何より必要です。市民の意識改革が不可欠です。</p>
	6	<p>花火大会を楽しみにしている市民にとって花火の再開は嬉しいことです。打ち上げ場所の変更に伴う会場設定だけでなく、観る人の移動の仕方や安全面については多くのモニターを使つての検証が必要かと思ひます。</p>

2月定例会議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

	No.4	運転免許自主返納支援事業(交通安全啓発事業費)
都市・環境常任委員会	1	事業自体は賛同します。特に、対象となる高齢者に向けて、直接自主返納を進める対策を講じていただきたい。
	2	<p>基本的には賛成です。高齢者は年齢とともに判断力と運動神経が減退し、事故の起こる確率が上昇します。しかし、車の利便性を考えるとなかなか免許を返したくありません。すると、自己弁護をして車に乗ることに執着します。確かに、子供たちは運転免許証の返納を促しますが、おいそれとは聞く耳を持ちません。技術の発展によって日々自動運転のニュースが流れますが、実用化はまだ先のこととなるでしょう。</p> <p>交通系ICカードも有効な方法ですが、生活バスの運行以上の方法はないと思います。地域の力だけでは難しい課題だと思われるので。ぜひ、生活バスの運行について検討を是非お願いします。</p>
	3	運転免許証を自主返納した方に、公共交通が利用しやすいよう交通系 IC カード5000 円分(デポジット料金 500 円を含む)を交付する案は良いと思うが、最寄りの公共交通機関までの移動手段をどう確保するのか? 移動手段としてタクシーを無料で利用できる対策案を検討してはどうか。
	4	運転に不安を感じている高齢ドライバーに対する環境整備の一環としては大変ありがたい話である。支援金の絶対額の問題ではなく、このような環境整備を考えていくことは大変良いことであり、効果的な施策を幅広く考案して欲しい。高齢者にとって、四日市市に住むには車が必須である。東京のような大都市圏に住む人と違って、交通網の整備が不十分で公共交通機関の利便性が悪い四日市は、まだまだ「必要な時に必要な代替となる足がない」のが実情である。
	5	支援策にはそれなりの反応があると思いますが、今後人口が減少するのは事実であり、効率の良い乗り継ぎや多くの市民が利用する施設等を拠点としたコミュニティバスの活用を検討するべきだと思います。

2月定例会議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

	No.4	運転免許自主返納支援事業(交通安全啓発事業費)
都市・環境常任委員会	6	<p>高齢者の交通事故は増加しており、特にアクセルとブレーキの踏み間違えによる事故が多く、命を落としている人も多い。これは高齢者の運転技術というより、慌てることで発生するもので高齢者の欠点かもしれないが、これを減らすには免許証の自主返納を促すことが必要である。しかし高齢者も車を必要になる事も多くあり、特に通院、買い物には欠かすことはできない。</p> <p>この対策として交通系ICカード5000円分を支援する案であるが、不十分であると思う。他にどのような対策があるか考えるとタクシーやコミュニティーバスの利用である。コミュニティーバスは行き先と時間を明確にしておけば利用者も出ると思うが、タクシーは運転者が限られている。</p> <p>まず、タクシー免許を持つ人を増やし、高齢者専用タクシーとして高齢者の希望日時に送迎すれば利用者も増え、自主返納も増えるのではないかと思う。タクシー免許取得の費用はタクシー会社が負担し、市はタクシー料金として高齢者に毎月5000円を市から交付する。</p> <p>毎月の費用、タクシー免許の取得にかかる費用、運転者への手当、安全対策費用など集計してタクシー会社と市が連携して運転免許証の自主返納を支援してはどうか。</p>
	7	<p>5000円の交通ICカードの交付で夫婦のどちらかが返納する人は増えると思います。</p> <p>高齢者がいつも利用出来るような公共交通網の整備と、後期高齢者のバスや電車などの料金割り引きがあれば、利用者も増え安心して運転免許証を返納できると思います。特にバス料金は高いと思います。</p>
	8	<p>運転免許証の自主返納に対する支援は、高齢者の生活にかかわる重要な事業です。対象年齢者は返納するかどうかの時に、かなり迷われる事例をたくさん聞き及んでいます。本事業はその意思決定の後押しをしていただけるものです。</p> <p>個人的な意見として、私は現在80歳で車を多用していますが、自主返納せねばならない状態になった時の練習として、自宅からスーパーまでの3kmを道をとときき歩いていきます。最近はたくさん買い物しても自宅まで届けていただけるシステムもあり、3kmの往復は爽快です。</p> <p>自主返納しやすい支援事業、システム、自己研鑽例の紹介などいろいろ組み合わせて、いずれは自主返納しない人はだらしのない人だと見られるような世風になっても構わないと思います。</p> <p>過去の自主返納者との不公平など気にせず、ぜひ協力に推進してください。</p>